

予算委員会 会議録

日 時 令和6年3月6日（水曜日） 午前9時58分 ～ 午後1時12分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 大塚 州章	副委員長 牧 宣雄	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 内藤 康弘	委員 伊藤 淳	委員 広田 精治
委員 戸匹 映二	委員 奥田富美子	委員 匹田 郁
委員 武生 博明	委員 吉岡 勲	

オブザーバー

議長 梅田 徳男

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	平山 博造	政策監（市民兼 福祉保健担当）	柴田 監
政策監（インフラ担当）兼 建設課長	高野 裕之	政策監（産業担当）	佐藤 一彦
教育次長兼教育総務課長	後藤 誠也	消防本部消防長	亀井 英樹
総務課長	佐世 善之	財務経営課長	荻野 浩一
秘書・総合政策課長	安東 信二	地域力創生課長	望月 裕三
市民課長	寺本 政浩	税務課長	中尾 敬
福祉課長	大戸 敏雄	保険健康課長	川辺みさご
都市デザイン課長	小坂 郡師	高齢者支援課長	安藤 隆文
水道事業所長	齋藤 隆生	子ども子育て課長	尾本 浩
併上下水道課長			
産業観光課長	佐藤 忠久	農林振興課長	目原 康弘

文化・文化財課長	神田 高士	学校教育課長	新名 敦
農業委員会事務局長	阿南 哲也	消防本部総務課長	小野加寿男
会計課長	姫野 敬一	建設課参事	村上 和
都市デザイン課参事	広瀬 隆	産業観光課参事	山木 哲男
上下水道課参事	日高誠一郎	学校教育課参事	麻生 幸誠
環境課総括課長代理	田中 啓市	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 後藤秀隆 書記 大井智香子 主査 足立卓也

傍聴者

(記者 1 名)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 3 3 号	令和 5 年度臼杵市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
第 3 4 号	令和 5 年度臼杵市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 3 5 号	令和 5 年度臼杵市下水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 3 6 号	令和 5 年度臼杵市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 3 7 号	令和 5 年臼杵市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決

午前 9 時 5 8 分 開議

○委員長（大塚州章）

予算委員会を開催いたします。

傍聴については、申出があった場合には許可したいと思いますので、ご了承ください。これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は 5 件であります。なお一般会計と特別

会計、全ての説明と質疑終了後に一般会計から順次、討論、採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日の委員会は、お手元に配付しております委員会次第により、進行します。また、質疑答弁を行う際は、挙手についても徹底をお願いしたいと思います。

それでは、第33号議案 令和5年度臼杵市一般会計補正予算（第8号）の議案の審査を行います。総務・企画関係の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 1ページに基づき説明 ）

◎財務経営課長（荻野浩一）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 1～2ページに基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 2ページに基づき説明 ）

◎地域力創生課長（望月裕三）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 2ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（芝田英範）

歳入の3番、基金利子5,811万5,000円ですかね、基金は今、何本あるんですか。30本の110億円ぐらいあると思うんですけども、基金一括運用と書いて出ていますけれど、それぞれ基金は、大分銀行とか大分県信用組合に定期でされているその利子と、あと国債はあるのか。その利回りと、1億円の定期でどのぐらい利子がついているのか、お願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

芝田委員の再質問にお答えします。今回の運用益の内容ですけども、まず、基金の中で、国債の運用に回せる分が約66億1,000万円あります。これに対する運用益が、7,800万円ほど上がっております。それともう1点、定期利息の分が18億6,000万円ほどありますが、これに対する利息は108万円であります。今回、運用益のほぼ全部、国債の運用益となっております。以上です。

○委員（芝田英範）

定期の運用益は本当に少ないとは思いますが、唯一市の財源になりますので、確実に安全な方法で、来年度も運用益を増やすよう、お願いをいたします。

○委員長（大塚州章）

ほかにありますか。

○委員（奥田富美子）

歳出の2のところをお願いします。表現の方法でちょっと分からないんですが、能登半島のところの派遣は追加になっているんですが、何かイメージは新規というふうに思うんですが、

追加でよいのかということと、予算書の１９ページの、普通旅費はこのままでいいんですかね。
すいませんお願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

奥田委員の質問にお答えします。予算書の中身ですけれども、これは秘書・総合政策課の所管の分の旅費と総務課も上がっている旅費があります。トータルでここに上がっている予算としてはマイナス１０万円となりますけれども、秘書・総合政策課の旅費を減額して、総務課所管の分の予算を今回１００万円上げたと。結果としてはマイナス１０万円という表示となっている状況であります。

○委員長（大塚州章）

あと追加というのは。

◎財務経営課長（荻野浩一）

追加というのは、もともと幾らかあったんですけれども、そこに対して今回、能登半島に行くというところで１００万円の追加というような表現をさせてもらっています。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんか。

○委員（河野 巧）

まず１点目、関連ですけど、能登半島の旅費ですけれども、こちら他市と比較した場合は、一律１００万円ぐらいを計上しているのかっていうのをご説明をお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員の質問にお答えをいたします。他市の状況は、把握はできておりませんが、今回、県のほうと同時に行っておりますので、県のほうの行程を含めまして、計算したところ、２月５日から派遣したものについては約２０万円かかっておりますので、３月までに５回程度あるのではないかと想定のもとに、１００万円ということで積算をさせていただいております。以上です。

○委員（河野 巧）

歳出の３番、車の購入費ですけれども、こういった車種を今のところ考えられているのか、分かる範囲でお願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

河野委員の再質問にお答えします。車種につきましては、軽の乗用１台、軽の箱バン１台と想定しております。電気自動車です。

○委員（河野 巧）

四駆とかじゃなくて、電気の軽自動車ということでしょうか。避難用、被災用とか、昔は４

輪駆動にこだわっていた時期があったんで、そういうのに使うんじゃないくて、電気で軽自動車を使うってことでよろしかったでしょうか。

◎財務経営課長（荻野浩一）

電気自動車の軽自動車ということでありますけども、今、四駆の部分は軽の乗用は四駆がなかったんですけど、箱バンで四駆があれば四駆に変えたいと思いますけど、箱バンも種類が決まっていますので、そんなに多くないので、そこはちょっと精査していきたいと思います。

○委員（河野 巧）

それから歳出の9番。定住促進の補助金で入るときは追加で、こういった感じで何かありましたって言うんですけども、途中で出られた方、補助金なので多分5年間移住しないと、返金という制度があったと思うんですけども、これは差引きがここに計上されるのか、差引きはまた別の項目で出てくるのか、ご説明をお願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。現在、累計の数字については、事情があって転出をした方を引いた数字ではなくて、純粹に入ってきた方の数字だけということとなっております。以上です。

○委員（河野 巧）

ということは返金とか、特にないので、項目的には、今回はこの中には載ってないという判断でよろしいでしょうか。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。補助金の返還分等はこちらの中には入っておりません。

○委員（河野 巧）

あるかないかもちょっと分かんないんですけど、どこかにそれは出てくるものですかね。ほかのページでも。お願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

休憩をお願いします

○委員長（大塚州章）

休憩いたします。

午前10時18分 休憩

午前10時19分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員のご質問にお答えします。事情により転出した方の世帯数とかは、累計の中に含んでおりませんが、転出した人数世帯数等は把握をしております。現在、定住率に換算すると約94%ということで把握をしております。以上です。

○委員長（大塚州章）

転出した人の予算はどこに含まれているのかという話ですよ。

◎地域力創生課長（望月裕三）

転出した方の予算というのは、歳入のほうで、返還金のほうを設けておりまして、そちらに入るようになっております。今回、要求している関係はあくまでも、これから入ってくる方に対する予算ということでなっております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

○委員（河野 巧）

補正予算なので、その返金は年度ごとに締めて、計上するような形になるんですか、お願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

年度ごとに締めております。返還を年度内に頂けた方は年度の予算になるんですけれども、中には分割してお支払いをしたいとかいうような方もいらっしゃいますので、そういった場合は、年度を繰越して収入のほうに充てさせていただいております。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

○委員（川辺 隆）

お伺いしたいんですけど、現在、白杵市役所が既に所有されている電気自動車の台数を教えてください。

◎財務経営課長（荻野浩一）

川辺委員のご質問にお答えします。白杵市が所有している電気自動車というものはありません。以上です。

○委員（川辺 隆）

今回、ふるさと納税の一部を繰り入れて、補助金を利用して電気自動車の軽自動車を買うという経緯をご説明ください。

◎財務経営課長（荻野浩一）

今回、企業版ふるさと納税を活用して電気自動車を買うといった経緯ですけども、企業からの寄付を受ける際に、企業側のほうの意向もありましたので、今回、軽の電気自動車を購入するというふうに至りましたことが理由です。

○委員（川辺 隆）

それでは、ふるさと納税の寄附金があったときに、その寄附を頂いた企業から電気自動車を購入するよという、条件がつけられたので、電気自動車を購入するよという経緯に至ったよいうことで解釈させていただきました。しかしながら、現在、大分市には電気自動車の代理店が一社この春、オープンするよような運びになっていまして、中国もそうですし、アメリカのテスラもそうですけれども、日本の電気自動車を買った方々のバッテリーの経年劣化が激しくなっておりまして、10年以内にはこのバッテリーの寿命が著しく低下します。走行距離も、現行の販売時の走行距離よりも、2分の1程度には落ちるよいうことが実証されていまして、皆様、報道等で御存じだと思いますが、電気自動車をハイブリッド車等の車に買い換える勢いが出ていまして、時代の流れでトヨタのハイブリッドが急速に欧米でも、販売台数を伸ばしています。そのよような状況の中で、カーボンニュートラルの会議が臼杵市で開かれていまして、脱炭素に対しても努力はしなくてははいけない。化石燃料の高騰、それに比べたら電気代のほうが安いよいうのが分かっている状況の中で、このバッテリーの経年劣化の寿命のことに關しては考慮しなかったんですか。

◎財務経営課長（荻野浩一）

川辺委員の再質問にお答えします。川辺委員がおっしゃったバッテリーの経年劣化に対する考慮よいう点については今回、検討する中では考えておりません。

○委員（川辺 隆）

それならば、今後、購入するにあたって、電気自動車を所有しなかった臼杵市が、このふるさと納税で企業からの寄附金の条件がついたから、購入したよいうことになれば、率先して買うよいう姿勢にはならないんですけれども、その結果が今まで1台もないよいう結果が出ていまして、これからの考え方の面でも今の考え方でよろしいんですね。

◎財務経営課長（荻野浩一）

先ほど、電気自動車を臼杵市は1台も持っていないよいう話をさせていただきました。ただ、今、川辺委員がおっしゃったよように、公用車を切り替えるときは、ハイブリット車を購入するよいうなことは今、進めております。もう1点先ほど言われた、今回、企業のほうから、軽の電気自動車よいうことの条件といますか、よいういったことに使ってほしいよいうふうな意向があったので、買ったよいうところでもありますけれども、今後よいういったことの申出があった場合は、今言ったよようなバッテリーのこともあるのであれば、当然そのときの相手方と話をしながら、進めていきたいよいうふうと考えております。以上です。

○委員（川辺 隆）

説明の仕方が大変問題になってくるんです。大分県の自然エネルギー推進の研修会では、電気に切り替えていかなくちゃいけない、これが、県全体のカーボンニュートラルの取組の一環になっていくかもしれない。また、水素自動車の導入です。今、それを臼杵市は、会議ですと行っています。しかしながら、水素自動車の保有台数は大分県で0台です。もうこれは分

かり切ったことですが、電気に特化した会社でさえ、購入を大分支店では持っていますが使用はしていません。この理由をはっきりした場合、今後、白杵市が行う取組の中では、電気自動車の購入を行政が率先してやっていかない限り、これが民間にはおりにこないんです。ですから、今の説明では、今後、出てくる問題に対してのお答えには僕はならないと思いますので、答弁のほうは少しまた財務経営課長のほうで考えていただいて、カーボンニュートラルの白杵の取組を踏まえたご答弁を今度期待しますので、そのところよろしく願いして質問を終わります。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

○委員（河野 巧）

もう1点だけすみません。歳出の1番、人件費の部分で、補助事業採択による組替えの後にある地域おこし協力隊の減額等ってあるんですけども、もう少し詳しくご説明をお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員の質問にお答えします。こちらにつきましては、有機農業の地域おこし協力隊を雇用見込みで当初予算のほうに上げておったんですけども、6名の採用を見送ったということで、今回減額をさせていただきました。

○委員（河野 巧）

6名で、予算幾らですかね。

○委員長（大塚州章）

休憩いたします。

午前10時27分 休憩

午前10時29分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

◎総務課長（佐世善之）

地域おこし協力隊6名分の人件費ですけれども、総額で1,692万5,000円の減額になっております。

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

○委員（河野 巧）

ということはこの金額は全て差引きした額で1,692万5,000円というのが6名募集する予定だったのが、募集できなかったっていうことの金額でよかったかっていうのが1点と、農業6名って結構な人数なので、そもそも何人募集したくて、何人来て6人来なかったのか、6人募集が6人来なかったのか、その間どういう予定で募集されたのか、そのいきさつをお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員の質問にお答えします。地域おこし協力隊の事務局については、農林振興課になっていますので、その辺は確認をさせていただいて、次の予算委員会の場で説明させていただきます。お願いします。

○委員長（大塚州章）

それでよろしいですか。

（ 「はい」の声 ）

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で総務・企画関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。
休憩いたします。

午前10時30分 休憩

午前10時31分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に市民関係の議案について審査を行います。

執行部の説明を求めます。

◎市民課長（寺本政浩）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 3～4ページに基づき説明 ）

◎税務課長（中尾 敬）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 3ページに基づき説明 ）

◎政策監（市民兼福祉保健担当）（柴田 監）

環境課所管の補正予算についてでございますが、本日、藤澤環境課長が体調不良で欠席をさせていただきますので、申し訳ありませんが私のほうから説明をさせていただきます。

(令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 3～4ページに基づき説明)

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

繰越明許費の1番、戸籍住民基本台帳費の件で、国のほうからシステムが今回、間に合わないというご説明だと思うんですけども、予定が分かればお伝えください。いつぐらいに整備できそうだというのをお願いします。

◎市民課長（寺本政浩）

河野委員のご質問にお答えします。現在、未定でありますので、来年度中に契約するという形になります。

○委員（河野 巧）

同じく繰越明許費のほうですけども、パークゴルフ場の整備事業、ちょっと聞き取りにくくてすみませんでした。2, 410万円の繰越しの部分は、芝の整備の費用になるのか、その管理も含めての費用が、今回間に合わなかったという、芝のほうがメインなのかの説明をお願いします。

◎環境課総括課長代理（田中啓市）

河野議員のご質問にお答えします。パークゴルフ場の繰越明許費の内訳としましては看板の設置、こちらが管理者等の協議に不測の事態に日数を要したということと、あと東屋です。避難場所兼東屋と植栽日除け、こちら芝の工事の遅れによりまして全体スケジュールが下がった関係で、工期内に完了が見込めないということで繰越しをするということにしております。

以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

○委員（河野 巧）

芝の生育が大変で、4月オープンが難しいという説明を受けていたので、芝生の関係かなと思ったんですけど、そこは今までの年度の予算で、そこまでいく形でよかったでしょうか。

◎環境課総括課長代理（田中啓市）

河野委員のご質問にお答えします。従来ももとの本体工事である、造成工でありますとか管理棟の工事、こちらは工期内完了予定となっております。以上です。

○委員（河野 巧）

ですので、管理費についてはこれまでの予算で、年度を越すんですけど、管理を年度内予算で完了するっていう、考え方でよかったでしょうか。

◎環境課総括課長代理（田中啓市）

河野委員のご質問にお答えします。管理といいますか、今回は工事に関わることです。管理費というのは、すいませんけど、こういった意味合いの管理費でしょうか。

○委員（河野 巧）

生育が遅く、予想ができないので、夏頃のオープンにずれ込んだと思うんで、芝を刈ったりする、整備する費用というのは、繰り越さなくても、今の予算で、完成に当たっては、年度越すと思うんですけど、その部分の予算は、今回には入っていないという形なのか、前回で全部するっていう位置づけでいいのかお願いします。

◎環境課総括課長代理（田中啓市）

河野委員のご質問にお答えします。芝そのものにつきましては、完成までの芝の刈り込みだとかそういったものは、引渡しまでは、工事の中で見ております。4月以降に関しては、当初予算のほうで予算を計上させていただいております。以上です。

○委員（河野 巧）

債務負担行為の四つ目、佐野清掃センターですけども、令和9年度から新しいところに、ごみの処理をお任せするという認識だったんですけど、9年度までこれがかかるということで、その辺ちょっと少しご説明お願いします。

◎環境課総括課長代理（田中啓市）

河野委員のご質問にお答えします。4番の佐野清掃センター、こちらが令和4年度に機能整備ということで更新工事等を行っております。その起債の償還が令和6年度から始まるということで、実際の新環境センターそのものは、令和9年度オープン予定です。それまで、機能を維持するための工事を令和4年度に開始しましたということです。その償還がしばらく残るという形になっております。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で市民関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前10時44分 休憩

午前10時45分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明をよろしくお願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 5～7ページに基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ５～７ページに基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ５～７ページに基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ５～７ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（奥田富美子）

歳出の６番、お願いします。子どもや若者に対する性被害防止の、国が緊急パッケージを考えておられたかと思うんですが、その一環なのかと思いましたが、今回保育所等に、集中してあるようになっていると思うんですが、その理由と上限１０万円は希望があったら対応するという形でよろしいでしょうか。

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

奥田委員の質問にお答えいたします。この性被害防止対策につきましては、奥田議員がおっしゃったように、緊急対策パッケージの実施の中の一つでございます。保育所というふうに限定を今回していますが、その目的はやっぱり、なかなか子ども自身が声に出して訴えることができないということと、先ほども言いましたが、全国的に性被害が増えているというところで、国のほうでパッケージの中の一つとして未然の防止の取組というところで、今回、国が事業をすることでございます。補助の内容で１施設１０万円、これは国が定めた基準額でございまして、一応希望する保育園、児童クラブ、子育て支援拠点、こういったところに意向をお伺いした結果、１５施設というところで今回、補正予算を計上しているところでございます。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」の声 ）

○委員（河野 巧）

歳出の１０番のところですけど、非課税の部分で消費税を支払うものってあるんですけども、ここはもう事務費等は、かからない形で消費税のみの予算でよかったでしょうかお願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の質問にお答えします。消費税のみになります。以上です。

○委員（河野 巧）

本当難しいとこだと思うんですけど、相手方の平成３０年からってなると契約書とかの見直しとか、提出とかしたときの事務費とかは見なくてよかったのかなと、ちょっと考えたもんですから、そこは国のほうから特に要請はなかったんでしょうか。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の再質問にお答えいたします。国のほうから、そういった事務費等の扱いについての通達等はありません。あくまでも、先ほどご説明しましたとおり、消費税の扱いがこういう扱いだというふうな通達でそれに対応しているというところでございます。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

他にありませんか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で福祉保健関係の議案質疑終わります。ご苦労さまでした。

ここで10分間休憩いたします。

午前11時02分 休憩

午前11時10分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次にインフラ関係の議案について審査をします。

◎都市デザイン課長（小坂郡師）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 8～9ページに基づき説明 ）

◎政策監（インフラ担当）兼建設課長（高野裕之）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 8～9ページに基づき説明 ）

◎上下水道課長（齋藤隆生）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 8～9ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明終わりました。これより質疑に入ります。ありませんか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上でインフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前 11 時 18 分 休憩

午前 11 時 20 分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

総務課から発言の申出がありましたので、これを許可いたします。

◎総務課長（佐世善之）

先ほど総務・企画関係の予算委員会の中で、私の説明に誤りがありましたので 1 件訂正と追加の説明をさせていただきます。

まず総務課の予算委員会の中で、会計年度任用職員の人件費、地域おこし協力隊の部分の 6 名の減額全てを、有機農業と説明いたしましたけれども、有機農業については 3 名、地域力創生課に 3 名ということで、6 名は変わりはありませんけれども、内訳が、有機農業の隊員が 3 名と地域力創生課の隊員が 3 名ということでございます。その内訳といたしまして、地域力創生課の分につきましては、3 名の減額ですけれども、これにつきまして各課からの様々な要望に対応できますように、5 名分の予算を計上して確保しておりましたけれども、令和 5 年度につきましては 2 名の採用にとどまったということで、3 名の減額ということでございます。

◎農林振興課長（目原康弘）

それに関連します有機農業隊員についてご説明させていただきます。有機農業の分野におきましては、3 名の採用予定として予算計上をお願いしたところでありますが、結果として、3 名のうち 1 名につきましては、農林公社の職員の育成という観点で募集をかけました。結果としては応募が 0 名ということで、1 名分については応募がなかったということであります。残り 2 名につきましては、有機農業隊員の募集を行うということで、予算計上させていただいておりましたが、近年、有機農業隊員で採用した方が早期に辞めて、またほかの地域のほうに行ったということもございましたので、有機農業におきましては、地域おこし協力隊の制度がなじむのかどうかということも含めて、現在採用については検討し直しているところであります。より定着率の高い、ファーマーズスクール等が妥当ではないかというふうには考えておりますが、その辺を精査した上で、今後の担い手育成という観点では、非常に大事な部分でありますので、引き続き担い手育成は続けていくという中で制度をどうするかというところはちょっと見直しを図りたいということで、2 名については募集を行っていないので、合計 3 名の予算が余ったということになります。以上でございます。

○委員長（大塚州章）

説明が終わりました。今の質問で河野議員良いですか。

○委員（河野 巧）

基本的に、有機農業の協力隊のほうの定着率が、一般の地域おこし協力隊よりは定着が高い

という認識だったものですから、その方々も今集まらない状況になっているっていうのは、ちょっと不安に思ったんですけども、そもそも先ほど、地域力創生課のほうの5名募集したい、各課の要望からっていう中で、2名採用できたけど3名できなかったっていう時に、当初の計画では、5人ぐらい欲しいっていう要望があったから、多分、予算立てられたと思うんですけども、こなかったことで仕事が回ったっていうか皆さん努力されたと思うんですけども、そうになったら最初から要らなかったじゃないかなという結果になっちゃうんで、その辺、3名の方は来なかったことで、できなかったことはどういうのがあるのか。そこは、検討されてますでしょうか。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員のご質問にお答えします。一応、毎年度、協力隊の採用枠というか、一応5名程度を見越して、当初予算要求をさせていただいております。今年度は先ほど言ったよう2名の一般隊員に、ご協力を頂いているところですが、実は部署ごと例えば観光であったり福祉であったり、そういった部門についてもやはり協力隊が活躍できる場所がありまして、その時点、時点で、課題が生じたときに必要な人員を直に対応できるように、一応予算を確保させていただいておりますが、今年度に当たってはそういう状況にならなかったということで、予算のほう、市は見合せたというような状況にございますので、当初予定していたものが全て、本年度に必ず実行する状況になるかどうか分からないところではあるんですけども、即座に対応できる体制を整えているというふうにご理解頂ければありがたいと思います。以上です。

○委員長（大塚州章）

以上で説明終わります。河野委員よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

それでは、次に産業関係の議案審査を行います。執行部の説明をお願いします。

◎政策監（産業担当）（佐藤一彦）

それでは産業関係の重点事項について各課長よりご説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 10ページに基づき説明 ）

◎農林振興課長（目原康弘）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 10～11ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（川辺 隆）

歳出の中止事業が1個あるんですけど、5番ですけど、2億円を超えてたばこ税の納入があったという話がありまして、それなのに、税の使い道の中のたばこの税がついたのがこの補正

予算の中にはこれだけなんです。この事業がなぜ中止になったかのだけのいきさつを教えてください。

◎農林振興課長（目原康弘）

説明不足で大変申し訳ありません。事業につきましては、天地返し事業を行う予定としていた圃場以外に、良い農地が見つかりまして、その事業をする必要がない土地が見つかったということで、事業を中止したということになります。以上です。

○委員（川辺 隆）

この事業費をせっかく取っていたのであれば、なかなかないんです。1年通してたばこ税の使い道という事業がほとんどないんですけども、できればこういう事業費をせっかくとったのであれば拡大解釈を少ししてもたばこ税を利用したとかいうアピールにもなりますし、納税義務の果たしている、大きな役割の一因があるということも踏まえて、事業の何らかしらの継続をまたお願いして、質問を終わります。よろしくお願いします。

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

○委員（河野 巧）

歳出ナンバー4番。園芸の補助金の件ですけども、入札の部分で大分減額になったっていう話ですけど、いくらの入札がいくらになってこうなったかっていう説明があればお願いします。

◎農林振興課長（目原康弘）

河野委員のご質問にお答えします。イチゴハウスにつきましては、当初予算としては1億2,770万1,000円の事業費で計上しておりました。入札によって、実施額として6,692万4,000円という価格になりましたので、イチゴハウスについては、6,077万7,000円が減額となります。あわせてイチゴの育苗ハウス、先ほど言いました本舗になりますが、育苗ハウスのほうにつきましても、予算3,080万円に対しまして、入札の結果1,578万円という額になりましたので、1,501万5,000円という額が減額となっております。事業費大きく下がったのはこのイチゴハウスの入札によるものが1番大きいということになります。以上でございます。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか

○委員（河野 巧）

今お話聞くと、当初予算からすると半値ぐらいになっているんですけど、そういった金額、入札した人がそうなんだろうけど、見積り段階でそういう形になるんでしょうかという質問も変なんだろうけど、そんなもんなのですかね。予算を審議したほうとしては、どうしても決算っていうか、補正の部分でそんなに差があると、見積りのなかでどうなのかなと思ってしまいうんで、ちょっとその辺詳しく分かればご説明をお願いします。

◎農林振興課長（目原康弘）

河野委員の質問にお答えします。当初の設計については、県の標準事業費とか、そういったものを参考に設計いたします。今回、これだけの額が落ちたというのは、ちょっと我々としても、びっくりしている額ではあるんですが、これは適切に設計から入札に至るまで行われたものでありまして、問題はないかというふうに思っております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

○委員（広田精治）

歳出6番をちょっと教えてほしいんですけども、10年ぐらいたつかと思うんですけど、現在の白杵市内の共同活動している地域の数と、その中に所属している構成員数、合計で分かれば教えてください。

◎農林振興課長（目原康弘）

広田委員の質問にお答えします。今現在実施している地区の数につきましては、45地区、が実施しております。実施している地区、人数については、ちょっと今手元に数字がございませんので、また後日お答えしたいと思います。

○委員長（大塚州章）

広田委員、後でいいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で産業関係の議案質疑終わります。ご苦労さまでした。
休憩いたします。

午前11時40分 休憩

午前11時41分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に会計課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎会計課長（姫野敬一）

（ 令和5年度 3月補正予算重点事項説明資料 12ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

まず、この1番の基金についてですけども、これは1,500万円というのは、年間のこれぐらいあれば動けるっていう、基本的なことから積み上げられた金額なのか、これで2年ぐらいはもつなっている予測なのか、その辺をお願いします。

◎会計課長（姫野敬一）

河野委員のご質問にお答えいたします。これは、年間ではなく、3か月分を予定しております。この後については、これは基金として定額積立てしておくもので、支払いがあるごとに3か月ぐらいごとに各課から請求を行って、予算から全部ここに入れてもらうので、基金としては1,500万円以上は増えないようになっております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

先ほどクレジット払いっていうのもあったんですけども、ちょっとその辺のご説明を、誰のクレジットでいくのか、行政のクレジットのことを言われているのかをお願いします。

◎会計課長（姫野敬一）

河野委員の質問にお答えします。クレジットカードにつきましては、まだ正式にはどこのカード会社を使うか決めておりませんが、市役所として口座を設けて支払います。

○委員（河野 巧）

市役所のほうからクレジットを持つというのは、よく把握できてないんですけども、ポイントとか貯まる場合、基金なのでそれに繰越したりするのがあるのか、もうそういうのは全然機能付けずに、これはこれで基金で運用するのかなと思ったんですけどどうするのか。ご説明願います。

◎会計課長（姫野敬一）

河野委員のご質問にお答えいたします。ポイントについてはポイントが付与されます。そのポイントについて、そのポイントをまた運用とかじゃなくて、そのポイントがポイントとして、旅費とか、また違う払いの分に活用させていくという考えでございます。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

以上で会計課の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前11時44分 休憩

午前11時45分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に教育委員会事務局議案について審査を行います。説明をお願いします。

◎教育次長兼教育総務課長（後藤誠也）

教育委員会事務局所管分についてご説明申し上げます。

詳細については担当課長から申し上げます。よろしくお願いします。

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １３ページに基づき説明 ）

◎学校教育課長（新名 敦）

それでは学校教育課分、２番と３番につきましては私のほうから、４番につきましては麻生参事監のほうから説明させていただきます。

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １３ページに基づき説明 ）

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １３ページに基づき説明 ）

◎文化・文化財課長（神田高士）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １３～１４ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

歳出ナンバー６番と繰越明許費の１番ですけど、先ほど詳しい説明していただいたんですけども、本調査を３月以降に行われるという期間は、どれぐらいを見越してるのかと広さはどれぐらい予定しているのかをお願いします。

◎文化・文化財課長（神田高士）

まずは、調査の期間ですけども、今のところ最短で３か月を予定しています。そして面積は２，５００平方メートルです。実際のところ大体１，０００平方メートルが、フルに毎日出ても、大体最低ひと月はかかるという計算です。ただ移住の密度が非常に高いので、それだけちょっと時間がかかるだろうということで、最低でも３か月ということしております。ただ、できるだけ業者さん、あるいは、そこに進もうとしている方に迷惑がかからないよう、調査の短縮を技術でカバーしていきたいと思っております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前 11 時 52 分 休憩

午前 11 時 56 分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に農業委員会事務局の議案について審査を行います。

よろしくお願いいたします。

◎農業委員会事務局長（阿南哲也）

（ 令和 5 年度 3 月補正予算重点事項説明資料 15 ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

以上で農業委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前 11 時 59 分 休憩

午後 0 時 00 分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に消防本部の議案について審査を行います。

よろしくお願いいたします。

◎消防本部消防長（亀井英樹）

消防長の亀井でございます。令和 5 年度 3 月補正予算に係る消防本部所管分につきまして、担当の小野総務課長から説明させていただきます。すみませんが着座にて説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

◎消防本部総務課長（小野加寿男）

（ 令和 5 年度 3 月補正予算重点事項説明資料 16 ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

歳出の 2 番、報償費ですけども、37 人予定ということですけども、おおむね退職される方

の任期、務めた期間、5年未満が何人ぐらいとか10年未満は何人ぐらいとか、早期で辞める方が多いのか、大分勤められた方が辞めるのが多いのか、それが分かればお知らせください。

◎消防本部総務課長（小野加寿男）

河野委員のご質問にお答えします。任期については、ばらばらですが長い方で50年2か月、早い方で5年ですね。退職報奨金5年以上で、最低20万円の支給になりますので、5年の方が1名、あとは10年とか20年超えた方というような状況です。

○委員長（大塚州章）

ほかにありませんでしょうか。

○委員（川辺 隆）

退職報奨金の規定の支払い金額大変高いです。今問題になっています、消防団の30人ぐらいの枠の中に登録だけして、1日も出動していない方も極端に言ったら5年経ったら、20万円が出るシステムですか。

◎消防本部総務課長（小野加寿男）

川辺委員のご質問にお答えします。退職報奨金の規程の条例では、消防団員として辞令を受けた者については、対象となりますので仕事等の都合で出られなかった場合にも、支給の対象としております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

ほかにありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

ここで休憩いたします。

午後0時10分 休憩

午後1時00分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に特別会計の議案審査を行います。

初めに上下水道課所管の議案の審査を行います。

第34号議案 令和5年度臼杵市水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。執行部の説明をお願いします。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １７ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で第３４号議案についての質疑を終わります。

次に第３５号議案 令和５年度臼杵市下水道事業会計補正予算（第３号）を議題といたします。説明をお願いします。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １８～１９ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

債務負担行為の部分ですけども、昨今人件費が上がっていますので、委託料については、例年と比べてどれぐらいアップしているかっていう何か指数があればお知らせください。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

河野委員のご質問にお答えいたします。委託料関係は、今回当初予算に計上している分はさほど大きくアップは見ておりません。当然、年間に応じてそれぞれの汚泥の処理量が変わります。部分的には、委託先に応じては単価が若干人件費分が変わったりとか、運搬にかかる費用、そういったものが変わっておりますが、あまり大きくは変化してないということになっております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。

（ 「はい」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で３５号議案についての質疑終わります。

以上で上下水道課所管の質疑を終わります。

ここで休憩します。

午後１時０５分 休憩

午後１時０６分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に保健健康課所管の議案の審査を行います。

第３６号議案 令和５年度臼杵市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）を議題といたします。

説明をお願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ２０ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明終わりました。これより質疑に入ります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で第３６号議案についての質疑を終わります。

以上で、保健健康課所管の質疑を終わります。

ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後１時０８分 休憩

午後１時０９分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に高齢者支援課所管の議案の審査を行います。

第３７号議案 令和５年度臼杵市介護保険特別会計補正予算（第３号）を議題といたします。

説明をお願いいたします。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和５年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ２１ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、第３７号議案についての質疑を終わります。以上で高齢者支援課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午後１時１０分 休憩

午後１時１１分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

これより第３３号議案 令和５年度白杵市一般会計補正予算（第８号） に対する討論に入ります。

（ な し ）

○委員長（大塚州章）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。

第３３号議案については原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

異議なしと認めます。

よって第３３号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。

以上で第３３号議案についての議案審査を終わります。

次に特別会計に入ります。特別会計の第３４号議案から第３７号議案までは一括して討論を行います。

（ な し ）

○委員長（大塚州章）

以上で討論終わります。これより採決を行います。

特別会計第３４号議案から第３７号議案については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

異議なしと認めます。

よって第３４号議案から第３７号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。

以上で第３４号議案から第３７号議案についての議案審査を終わります。

以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。

予算委員会を閉会いたします。

午後１時１２分 閉会

白杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和6年3月6日

臼杵市議会

予算委員会委員長

大塚 州章